

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年11月18日（金）17:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、御案内していた時刻になりましたので、ただいまから11月18日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

来週は水曜日がお休みなので、委員会は火曜日に繰り上がって行います。その議題も今日説明をいたします。

委員会定例会の議題は5つです。

まず、1つ目が、炉安審・燃安審における調査審議事項ということで、これは先週の委員会で炉安審・燃安審の会長に来ていただいて意見交換をしましたがけれども、その結果を踏まえて今後の調査審議事項について改正をするということになります。

改正内容は1点で、先週も議論になったのですが、安全性向上評価届出制度について、従来は個別にあった届出についての審議だけをやっていたのですが、制度の在り方とか運用の見直しとか、そういったところについても議論をしてほしいということになりましたので、それを追加するというようになります。

2つ目が、量子科学技術研究開発機構の次期中長期目標策定の第1回ということになります。

これはQST（量子科学技術研究開発機構）ですが、今年度が7年間の中長期目標の最終年度になっています。なので、今年度中に次期目標、次の7年間の目標を決めることになるわけですが、今回その第1回ということで、次期目標のうち、規制委員会が関わる部分について案を提示するというようになります。

今回、案を議論しまして、了承されれば、審議会から意見を聞くとか、総務省と協議をするとか、いろいろな手続がありますので、そういう手続に入っていくということになります。2月頃に最終的に決定される予定です。

議題の3つ目ですが、審査実績を踏まえた規制基準の表現の改善について、今年度と来年度の計画ということになります。

審査実績を踏まえた規制基準の改善というのは、計画的に行っているものですが、その今年度と来年度の計画を決めるということになっています。

昨年度までは実用炉を対象にやっていたけれども、今年度と来年度は、核燃料施

設の関係の基準について見直すということになっていまして、計16件を対象に今後作業を進めるという計画が出てきます。

議題の4つ目ですけれども、第2四半期の検査の結果ということで、これは定例の四半期ごとの検査結果の報告になります。検査指摘事項が7件あったことが報告されます。

議題の5つ目ですけれども、ICRP（国際放射線防護委員会）の会合の結果概要ということです。

先週、ICRPがカナダで行われまして、伴委員が出席されましたので、伴委員からその結果の報告があります。

その下の（2）ですけれども、来週の委員会は臨時会議もあります。

議題は1つで、第2四半期の検査結果報告の核物質防護版ということで、これは今週も議題になっていたのですけれども、一部修正が必要になったということで2回目ということになっています。

次が、2ページ目に行きまして、11月22日の（3）第1093回審査会合です。これは特定重大事故等対処施設が議題なので非公開となっています。

議題は1つで、島根2号機の許可ということになります。

次が、11月24日の（5）技術情報検討会です。

これはいつものとおり最新の研究の知見とか事故・トラブル情報の報告があります。特に目新しいものは今回はないということです。

次が、11月24日の（6）、第1094回審査会合です。これも特重が議題なので非公開です。

議題は2つで、東海第二の設工認と高浜1・2号機の保安規定ということのようです。

次が、11月25日の（7）第1095回審査会合です。

議題は1つで、浜岡の津波評価についてということで、前回7月15日の審査会合で出たコメントへの回答ということになるようです。

次が、3ページ目ですけれども、11月25日の（8）核燃料施設等のほうの審査会合です。

議題は1つで、常陽の設置変更許可についてということです。今回は耐震設計についてのみの議論となるようで、時間も短くなっています。

あとは、3のその他の（2）のところですが、1F（福島第一原子力発電所）事故後10年の規制活動に関する国際規制者会議ということで、1F10年イベントと呼んでいますけれども、規制委員会とOECD/NEAの共催のイベントで、東京のお台場で行われます。各国の規制当局のトップを招きまして、1F事故後10年間の日本の取組を紹介して、4つのトピックについてパネルディスカッションが行われるというものになります。全部のプログラムの撮影も含めた取材が可能になっています。

その中で、（3）にあるように、山中委員長とOECD/NEAのマグウッド事務局長の共同での記者会見というのも行われます。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—